

第5回 前近代歴史地震史料研究会

2017年 11月 3日 (金・祝日)

12:50~17:20 受付開始 12:00

会場：新潟大学総合教育研究棟 D 棟 1 階大会議室

主催：新潟大学災害・復興科学研究所
「日本海沿岸地域を中心とした地震・火山噴火災害関連史料の収集と分析」研究グループ、科研基盤研究B「前近代における巨大地震の家屋倒壊率と死者数の研究」研究グループ、科研挑戦的研究（萌芽）「16世紀末から18世紀前半の内陸地震研究」研究グループ

12:50~13:50 研究発表

浅倉有子

南部藩『雑書』の地震記事の紹介 (1)

蝦名裕一・今井健太郎・岡田真介・安田容子・高橋成実

1804年象潟地震における関村の被害について

矢田俊文

1804年象潟地震における家屋倒壊数と死亡者数

14:00~15:00 研究発表

齋藤瑞穂

晩期縄文越後地震の復興と土器型式—新潟平野における弥生集落の出現順序—

原直史

支配錯綜地域における災害情報の集積—越後三条地震・庄内沖地震を中心に—

谷口央

元禄16年関東地震の地割れ被害

15:10~16:10 研究発表

原田和彦

地震被害情報の変化について—善光寺地震を中心に—

堀健彦・小野映介

1833年庄内沖地震による輪島鳳至町の津波被害—河合町との対比を中心に

西山昭仁

安政南海地震と安政伊予西部地震における家屋被害に関する—考察

16:20~17:20 研究発表

松岡祐也

1596年伏見地震における伏見の被害とその影響

西尾和美

「文禄5年閏7月地震」再論

片桐昭彦

年代記にみる16世紀の地震

どなたでも参加いただけます。(申込不要)

問い合わせ先 矢田俊文 (新潟大学人文学部、新潟大学災害・復興科学研究所兼任)

〒950-2181 新潟市五十嵐2-8050 新潟大学人文学部

TEL: 025-262-6542 MAIL: yata@human.niigata-u.ac.jp